

新 地域交通DX推進事業

総合交通課 25,659千円
【財源：一般財源】

事業の目的

交通事業者等が実施するデジタル技術を活用した利便性向上、最適化・効率化に向けた様々な取組を支援し、人口減少やコロナ禍等により疲弊している地域交通の生産性向上を図る。

事業の概要

(1) 事業内容

① 路線バスデジタル化支援

- ア QRコード等キャッシュレス決済の導入に係る最適なエリア・路線の検討に要する経費を補助（補助率：1/2以内）
- イ 路線バスのAIデマンド化に向けた実証に要する経費を補助（補助率：10/10以内）

② MaaS推進支援（補助率：1/2以内）

専門業者の活用や九州各県との連携によるMaaSの対象エリア・サービス拡大の取組に要する経費を補助

(2) 成果指標

令和7年度までに路線バスへ新たなデジタル決済方法導入

路線バスのAIデマンド化 現状（令和4年）なし → 3路線

MaaSアプリ対象エリア 現状（令和4年）2地域 → 県内全域

【路線バスAIデマンド化】



事業の期間

①ア・②：令和5年度 ①イ：令和5年度～令和7年度

新 地域交通再生・活性化事業

総合交通課 70,702千円
【財源:宮崎再生基金】

事業の目的

物価高における高齢者の交通機関の利用や交通事業者の運転士確保の取組を支援することで、新型コロナウイルスで疲弊した地域交通の再生、活性化を図る。

事業の概要

(1) 事業内容

- ① 高齢者利用支援
 - ・乗合バス事業者による高齢者（65歳以上）向け企画乗車券の造成を支援（補助率4 / 5以内）
 - ・免許返納者等へのプレミアム付きタクシー回数券発行
- ② 運転士確保支援（定額）
乗合バス・タクシー事業者による運転士確保の取組（教習費の負担）を支援し、新規就業者の待遇改善

【乗合バス企画乗車券】

（既存の企画乗車券）

悠々パス
（65歳～）

■運賃：
：100/300/500円
※距離に応じた運賃

■パス購入費：
9,000円/3か月
15,000円/6か月

（R5.10月～R7.3月）

シニアパス（仮称）
（65歳～）

■運賃：**一律200円**
※上記未満の区間は実運賃
■パス購入費：**無料**

悠々パス（65歳～）

※運賃・パス購入費を見直し

(2) 事業の仕組み

- ・乗合バス 県 → 補助 → バス事業者
- ・タクシー 県 → 補助 → タクシー協会 → 補助 → タクシー事業者

【運転士確保支援】

教習費（約25～28万）

事業者が負担

国 1/2
※R5開始

県 10万

事

県補助額以上を新規
就業者の待遇改善へ

(3) 成果指標

県内の乗合バス利用者数 令和3年 19,898人/日 → 26,000人/日

県内のタクシー利用回数 令和3年 12,039回/日 → 19,000回/日

県内の運転士数（乗合バス） 令和3年 391名 → 430名 （タクシー） 令和3年 1,852名 → 2,100名

事業の期間

① 令和5年度～令和6年度

② 令和5年度～令和7年度